

1. 教育用SNSを活用した双方向の授業環境

生徒が事前に登録した教育用SNSにより、学校ではパソコン、自宅ではスマートフォンなどの端末から常に教材のやり取りができます。また、1年間を通じて自分の学習履歴がポートフォリオとして蓄積されるので、あのとき何を考えて、どのような行動をしたか、またその結果どうなったか、などを振り返ることができます。さらに、先生やクラスのメンバーとSNSを使ったディスカッションや双方向の質問などができます(参考図1)。このように、1年間を通してICTをフル活用した授業環境に慣れ親しむことで、進学や就職後のICT機器を使った環境にすぐに適応することができ、生徒の満足度も非常に高いものになっています。

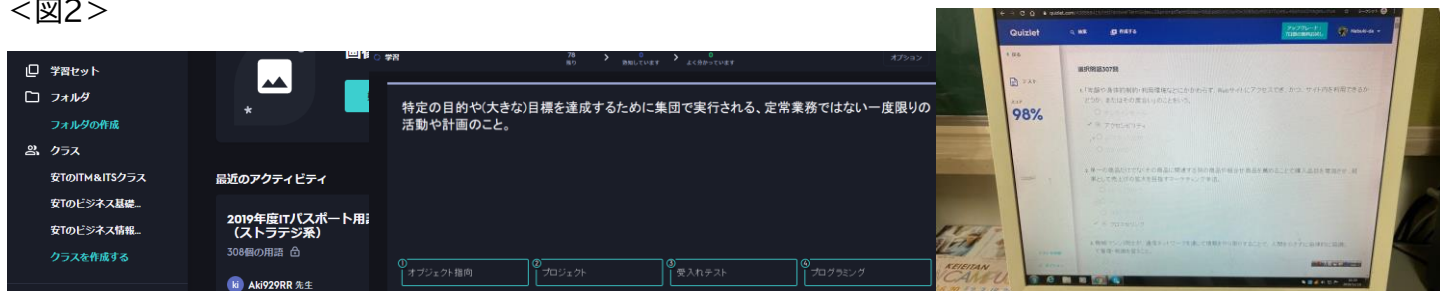
<図1>



2. ITパスポート試験対策

国家資格であるITパスポート試験に必要な知識を、専用の教材により集中的に学習します。また、先ほどの教育用SNSに加え、反転学習用E-Learningシステム<参考図2>を取り入れ、何度でも繰り返し問題を解きながら知識を身につけていくことができます。

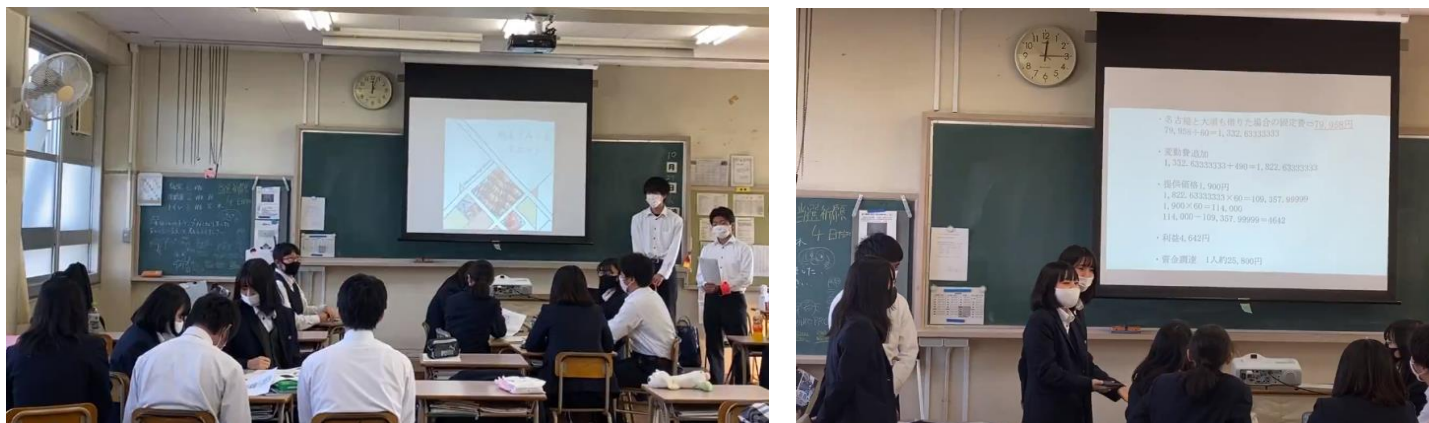
<図2>



3. ビジネススキルトレーニング

IT関係の知識をインプットした後は、現実社会で活用できるようにアウトプットを強化する学習を行っています。具体的には現実社会の社員研修や実践を想定した問題やケースを利用し、これまで学んだ知識や能力を活かして課題を解決する力を養います。この間は常にチームで課題解決にあたりますので、対人関係のスキルや自己の特性や能力について客観的に理解することもできます。

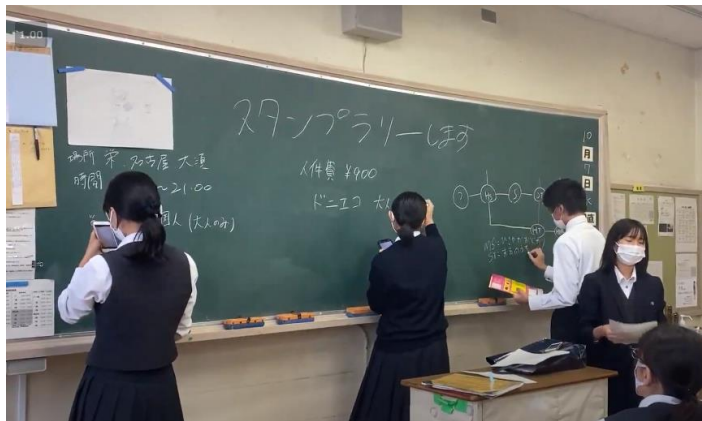
<図3: 高校生の立場でリアルに商品化できるものに関するプレゼン>



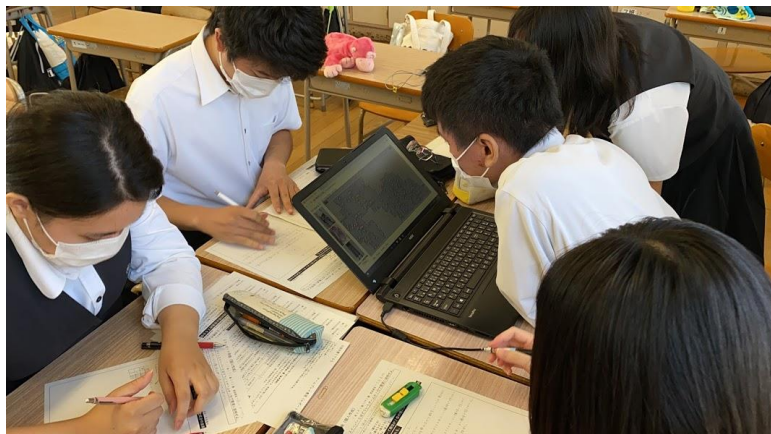
<図4:企画会議風景>



<図5:グラフィックレコーディング演習>



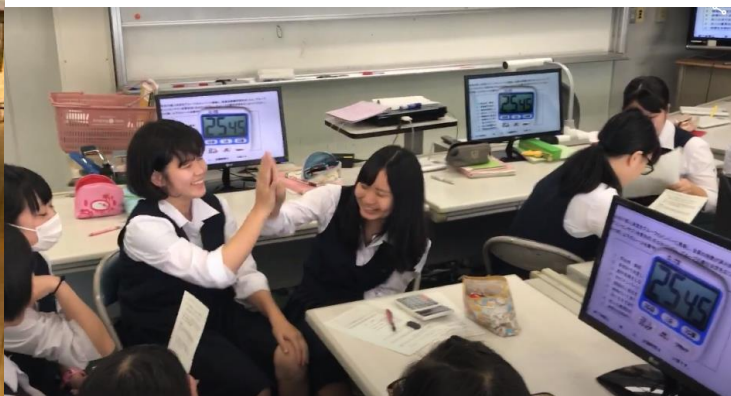
<図5:マインスイーパーを使ったビジネススキルトレーニング>



<図6:ペーパータワーを使ったビジネススキルトレーニング>



<図7:様々なテーマで行うコンセンサス(合意形成)ゲーム>



<図8:トランプを使ったオリジナルゲームの作成> <図9:チームビルディング『渋滞の発生メカニズムを特定せよ』>



この他にも、十数回にわたり受講している生徒の皆さんに合わせたビジネススキルトレーニングを設定し、社会に適應できる能力を獲得していきます。